

2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2	学年	2	コース	教養フロンティア 健康スポーツ
								必修・選択	必修（芸術選択）
使用教材		教科書							
		教育出版 新編 書道Ⅱ							
副教材		参考資料（古典、詩、短歌、俳句等）のプリント等							

学習目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたって書を愛好する心情を育てる。鑑賞と表現の基本的な能力を伸ばし、感性を高め書写能力を向上させる。書道文化のついて理解を深める。

学習方法

- ・用具・用材に関する基本的知識や扱い方を理解し、表現に応じて使い方を工夫する。
- ・古典に基づく学習から各書体の特徴を理解し基本的な用筆法を学ぶ。
- ・字形、線質、全体構成をとらえ表現できるよう、添削された作品から課題を見つけ反復練習する。
- ・多様な書風の違いに関心を持ち古典の美を鑑賞する中で、感性を働かせながら創造的な表現法を身につけていく。

学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。	
①関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・書体の違いや、字形の取り方に関心を持ち、その表現を身につけようとしているか。 ・毎時間の練習において意欲的に取り組んでいるか。 ・よりよい作品になるよう向上心を持ち、字形・線・構成を追求しているか。
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・制作意図を明確にし、工夫した自己表現ができているか
③技能	<ul style="list-style-type: none"> ・書体や字形、書風の特徴をとらえ、形式に応じた書き方ができているか。
④知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・各書体の特徴や変遷、多様な表現法を理解する。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
課題の取り組み	◎	◎	○	◎	
課題提出	○	◎	◎	○	
作品の完成度	◎	◎	◎	○	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

学習方法等のアドバイスなど

書道Ⅰで学んだ用筆法を生かし、さらに多様な書の表現法を学ぶことを大切にしましょう。古典を鑑賞しその美を感じ、臨書を通して身につけた表現技法を基に、自分の思考や感動を、表現意図をしっかりとって作品制作をしましょう。

年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 22単位時間	オリエンテーション 篆書の学習 隸書の学習 草書の学習	1年間の授業のついでの見通しを持つ 古典に基づいた篆書、隸書、草書の用筆、運筆法を理解し幅広い表現法を身につける 書体の変遷について理解する	学習活動： 篆書、隸書、草書の古典から各書体の特徴や基本的な点画、線質の表し方を学ぶ。古典を鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を高める。各古典の字形や線質、書風の違いを理解し、自分の思考や感動を表現できる技法を習得し、創作作品の表現へつなげていく。
2 学期 30単位時間	書道展へ出す作品の制作 漢字仮名交じりの書	ここまで身につけた古典表現から書道展に出すための作品を完成させる 修学旅行に向け学んだ平和学習から自分が感じた思いを、表現意図をはっきりさせ漢字仮名交じりの書で表現する	仮名では書道Ⅰで学んだ基本的な用筆と散らし書きについて理解を深め、和歌の作品を表現する。 刻字では、刻字の手順に従い、刻し方や彩色など、刻字の特徴を生かした表現を工夫する。 【評価方法】（年間）： ・毎時間の課題において基本的な内容を理解し、その習得のための練習に打ち込んでいるか
3学期 18単位時間	仮名の書 刻字の学習	書道Ⅰで学んだ仮名の用筆を基に、散らし書きを理解し、自分の選んだ和歌や百人一首を作品にする これまで学習した漢字の書を生かし表札の作品を仕上げる。書体、書風、構成、刻し方、彩色など各自工夫できるようにする	・作品制作においては基本的技法をもとに自己表現しようとしているか ・四つの観点に基づき総合的に評価する